



大 潟 村



大潟村長 高橋 浩人

大潟村は、1964年に国営八郎潟干拓事業により湖底に誕生した村です。

当時、戦後の食糧不足を解決するため食糧生産基地として造られ、全国から589名の入植者とその家族によって大規模営農と村づくりが行われ、豊かな農村へと発展してきました。

大潟村では、2000年に「環境創造型農業宣言」を行い環境に配慮した農業を展開し、減農薬・減化学肥料栽培や有機栽培の拡大に力を入れてきました。現在は、水稻を中心に約330haの有機栽培が行われています。

「みどりの食料システム戦略」を契機に、地域資源を活用した脱炭素、有機肥料の製造、有機農業の推進による「地域循環型農業」を構築し、新たな村づくりを進め「住み継がれる元気な大潟村～未来の子どもたちのために～」を実現するため、ここに「オーガニックビレッジ」を宣言します。



令和5年4月4日

大潟村長 高橋 浩人